

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

今回、小林氏より原稿の依頼を受けたときは、まさに自然災害の頻発やコロナウィルスの影響を受けて生活スタイルに変革が求められる中でした。これまで、私はどんな社会貢献をしてきたのか？振り返るいい機会となりました。

私は、大学時代は造園学・都市計画学を専攻し、就職と同時に具体的なイメージを持たずに漠然と北海道を訪れました。しかし、どこまでもまっすぐな道路、ラベンダーや農作物が織りなす丘陵地形、流氷で海一面が覆われる北海道特有の自然、美味しい食べ物など、ココにしかない魅力にどっぷりとハマリ、手つかずの自然に大きな可能性を感じていたのか(!?)、気付けば人生の半分以上を北の大地で過ごしています。現在、縁あって多くの人と一緒に造園・建築を含む都市・交通計画や道路計画に係る様々な業務に携わらせて頂いているのも、街づくりや道路づくりはとても魅力的な分野だと思うことが、自分の根底にあると感じています。

私の最近のトピックは、自転車計画業務で地元の人たちと共に汗をかきながら地域を元気づけるための取組に奔走し、関係者の笑顔がたくさん見られたときは、何物にも替え難い喜びとなりました。また先日は、約10年前に携わったガーデンプロジェクトの現場を訪れたのですが、樹木や宿根草が見違えるほど青々と大きく成長し、周りの自然と一体化した景観となった空間を作ることができたことに、これまでの苦労を含めとても感慨深い思いを抱ききっかけにもなりました。

私が携わる業務は多様で幅広い分野ですが、これからも日々研鑽を続け、仕事を通じ“北海道”がより良い成熟された社会になれるよう尽力し、その一助になればと考えています。

泉水 良之 (せんすい よしゆき)

●建設部門(道路、都市及び地方計画)、
総合技術監理部門

勤務先

パシフィックコンサルタンツ
株式会社



→次号は、宮崎栄一郎さん(建設部門)

還暦を迎えてからの資格取得となりました。公務員時代は、あまり資格取得には無頓着でしたが、民間に再就職し、技術士の資格を持つことで仕事の幅が広がること、また対外的な信頼関係が醸成されるなど、大きな優位性が発揮できることから資格取得を目指すこととしました。

久しぶりの試験勉強でしたが、驚くほど物覚えが悪くなっていることがわかり、途中、あきらめかけたこともありましたが、何となく要領をつかみ五感をフル活動しながら何とか合格に辿りつけました。また当社では、社員の3分の1が技術士の資格を有し、社員の技術士資格習得に向けた講習会の開催や模擬面接の実施など社を挙げた応援体制があり、こうした環境も後押ししてくれたものと思っています。今後は微力ながら若手社員の技術士取得に向け力を注いでいきたいと思っています。

我が国において人口減少や高齢化が進む中、農業においても労働力不足が深刻化しています。しかし、近年は高齢化や人口減少への対応として農作業の省力化に寄与する農地の大区画化や用排水路のパイプライン化、自動走行農機などのスマート農業などの取組みが加速的に進められています。恐らく農業スタイルそのものの大きく変わっていく転換期にあると思います。私たち技術者もこうした流れを先取りしながら必要とされる技術の習得に努め、タイムリーに提供できるよう心がけていくことが肝心だと思っています。また、現下の新型コロナの影響により、今後社会生活や仕事のあり様も大きく変わっていくことが予想され、技術者として何が出来るのかを考えていくことも必要だと思います。技術者としてやるべきことはたくさんあり、私も少しでも誰かのために役立てるよう頑張っていきたいと思っています。

関藤 博臣 (せきどう ひろおみ)

●農業部門(農業農村工学)

勤務先

株式会社 ルーラルエンジニア



→次号は、薄 正士さん(農業部門)